

第5回夕張市総合戦略検証委員会 委員意見一覧

戦略名	事業名	委員ご意見等	市回答
戦略1:若者の定住と子育て支援	戦略1全般	この戦略に共通して言えることは、現有市民に対する生活サービスの向上と捉えられる。これまでの夕張市が迎ってきた道(財政再建団体・人口流失・急速な高齢化)や、しばらくは終息を見ない新型コロナウイルスの影響による観光収入減少は、ますます夕張市の財政を逼迫させていく主たる要因である。既存の人的資源活用や市民サービスの充実とともに、積極的な企業誘致と定住人口の創出への取組をお願いしたい。	ご意見として頂戴する。
	① 若年層・女性向け低家賃賃貸住宅の整備	・転勤者、若年層の市内居住に一定程度寄与できている。単身向けの量は充足してきたが、選択肢のバリエーションとしてはいまだに少ない状況にある(ペット可・大さき・立地等の選択肢)。 ・決して安くはない家賃でも70戸満室であるならば、ニーズがあるという事だと思います。是非継続をお願いしたいと思います。	現在元雇用促進住宅を改修して賃貸住宅を展開しているヴィレッジハウスがあり、将来家族世帯向けの改修を行うという情報もあることから、総合的に判断し、今後の方針を検討していきたいと考えている。
	② 子育て世帯向け住宅取得・リフォーム支援事業	他市と比べても充実した補助メニューであるが市外への周知に課題がある。	周知方法について、広報およびHPにて行っているが、まだ情報を知らない市民がいるという話も聞くため、検討の余地があると考えている。
	③ 子育て世帯の公営住宅への入居緩和	・収入基準を緩和するとありますが、収入によって公営住宅に入れないという声を多く耳にします。その為、「市外から通っている」、「夕張への転居が難しい」という意見も多いです。公営住宅の空きがあるのに入れないという矛盾。収入基準の廃止等の条例改正は難しいのでしょうか。	公営住宅法にて収入基準の上限が定められているため、条例で収入基準を廃止することは不可能である。今回のように上限内での収入基準緩和については市内民間賃貸住宅とのバランスを考えながら今後も検討してまいる。
	④ 子育て支援センターの整備による子育て支援体制の強化	さらなる情報周知が必要と考える。	子育てガイドブックや市ホームページ等を活用し情報発信に努める。
	⑤ 廃校や生活館を活用した地域コミュニティ機能の拡充(集落拠点)	運営状況の見直しが必要と思われる。経費面や運営体制等継続に不安な点がある施設が見受けられる。	令和2年7月に全生活館等について、ヒアリングを実施し、課題・要望等を把握したところ。 高齢化・人口減少等にあっても、コミュニティの拠点として存続の意向がある町内会がほとんどであったので、今後、情報交換・協議の場を持つこととしている。
	⑦ 遊休市有地を活用したサービス付き高齢者向け住宅の誘致	事業者が現れないということは採算面で合わないということではないか、課題を再検討するべきと思う。	市内でサ高住を運営している事業者に聞き取りをしたところ、採算面では問題ないと伺っている。課題としては、特別養護老人ホーム、養護老人ホーム、軽費老人ホーム、グループホーム等各種住まいの場が用意されており、サ高住の誘致が進まないことが考えられる。高齢者施設の入居状況や供給バランスを考慮し、高齢者が求める住環境整備の検討が必要と考えている。
	⑧ 空き家バンク制度を活用した不動産の流動化促進	・空き家バンクに登録したときのアドバンテージがなければ他の無料情報サイト(ジモティー等)での掲載に劣るのではないだろうか。 ・夕張に不動産会社が1件も無かった時には、行政がやらざるを得なかったと思いますが現在は不動産会社もあり、そもそも行政がこの事業をやる必要性は？とも思います。個人情報の取り扱いの問題もありますが、なるべく不動産会社主体にすべきと思います。	空き家バンクについては、市内の不動産業者がいることから、相談があった場合は紹介をしている。また、空き家の無料相談会を実施しており、相談の大半は家を売却したい相談であるため、今年は全日不動産協会の協力を得ることができ、売却の相談の場合も対応できるようにしているところ。 (本協会には、市内の不動産会社も登録しており、この相談会で売買の相談があった場合は、その情報が不動産会社にも情報共有される仕組みとなっているところ。)
	⑩ こども達が集う公園整備	・市の公園以外の施設でも子どもたちの利用が多い場所がある(宮前市営住宅附属公園や旧もみじ小学校グラウンド等)こういった施設については運営者任せではなく何らかの手立てを考えていくべきである。 ・公園の維持費を考えると、現在34ヶ所から半分程度まで減らさなければならないと思います。公園には草刈り、遊具点検、遊具の修理、フェンスの修理など維持費用が思った以上にかかります。現在34ヶ所あるとの事ですが、人口から考えると8ヶ所ぐらいが妥当だと思います。公園は道や園など、様々な所からの補助金で作られている経緯もありますので、すぐに、という事ではなく徐々に減らしていく方向が望ましいと思います。 ・市内のどこの公園も鹿のフンだらけだったり、サイクリングロード等の雑草処理が不十分で、安心して利用出来ないで整備をお願いしたいです。	・市営住宅付属公園については、定期的に遊具の点検や安全性が確保できない遊具の撤去を行っています。自治会や入居者のニーズをふまえ更に適正な整備を検討してまいる。 ・児童遊園地については、ニーズを見極めながら適正な配置に向け検討してまいる。
	⑪ こども一時預かり機能の強化	さらなる周知が必要と考える。	引き続き子育てガイドブックや市ホームページ等を活用し情報発信に努める。
	戦略2:新たな人の流れ・交流人口の創出	① 「活動人口」と「関わり人口」を繋ぐ地域交流プラットフォームづくり	・情勢の変化を見極めていく必要がある。また、数だけではなく実際に市にかかわってくれる実数を増やす方が重要。 ・地域おこし協力隊の方も頑張ってくれていると思いますが、SNSの発信などはやはりプロ(業者)にお任せするべきと考えます。登録者数は約500人ですとちょっと寂しいですね。SNSツールも沢山あり、しっかりした企画を作って行政と業者は分業しないと厳しいと思います。
④ 総合スポーツクラブ設置によるスポーツ交流ビジネス創出		今後合宿の減少が想定され、運営や市のかかわり方を見直す必要がある。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のための新しい生活様式を踏まえつつ、スポーツ交流の在り方を指定管理者とともに検討してまいる。
⑦ 外部人材を活用した「活動人口」の創出		実績を評価するための指標が補助金支出額だけでは評価のしようがない。別の指標の公表が必要である。	「令和元年度までの進捗・事業効果」欄記載の補助実績について、補助額から補助件数に修正。
⑪ 学生と連携した地域の魅力掘り起こし		「令和元年度までの進捗・事業効果」の記載が、平成30年度と同じということは、令和元年度は、事業を行っていないこととなる。また、「事業実施上の課題」「令和2年度の取組(予定)」が空欄であることから、本年度は、当該事業の予定がないと読み取れるが、いかがなものか。	意見交換会なども行いながら取組について検討してまいります。

戦略名	事業名	委員ご意見等	市回答
戦略3:地域資源を活用した働く場づくり	① 高齢者や子育てママが働きたいと思う仕事づくり	拠点施設ができたあとの取り組みを進めるべきである。	資格取得補助及び新規創業に対する助成の実施や、ハローワークや商工会議所と連携した人材マッチングなど検討してまいりたい。
	② 農業者、農協、市の連携による産地力強化	現状単価の安い加工用メロンの収益化手段は考えているのか。	実需の要望に応えるべく、加工用メロンの増産を図るため、H29～R1の3か年において農地賃借料や資材費等の一部を助成することにより生産者負担を軽減しながら3.2haの面積拡大を図ったところ。今後、更なる収益力向上に向けては、需要動向等も踏まえながら、農業団体と連携して検討してまいりたい。
	③ 市有林を活用した薬木産地化への挑戦	・苗木が手に入らず予算が執行できない状況は問題である。自家増殖等を予算化してでも実行する方法を考えなければならない。 ・夕張メロンに続く未来の見える事業だと思います。成果まで時間はかかりますが、このような事業には予算と人を惜しまなくかけるべきだと思います。	・薬木の苗木調達の内製化について、その得失等について慎重に検討してきている。 ・生薬原料として安定供給できる規模まで、薬木植栽面積を拡大したい考えはあるところ。今後も企業版ふるさと納税をはじめとした支援をいただけるよう情報発信に努めてまいりたい。
	④ 広域連携を通じた森林資源のフル活用・循環利用サイクル確立による雇用創出	さらに進めてほしい事業だと考える。	・将来、連年で30年から35年の期間、6,000kg/年を供給できる規模まで拡大する計画を立てているところであり、引き続き取り組んでまいりたい。
戦略4:夕張の未来を創るプロジェクト	① 小中高連携による郷土愛教育の推進	・「令和2年度の取組(予定)」に高校におけるスキー学習に関する記載がない。令和元年11月11日の検証委員会において、地域振興課長から事業継続の意向であるとの説明があった。確認願いたい。 ・継続して行っていただきたい。	・夕張の自然や歴史を体験・学習することを通して、子どもたちの郷土愛が醸成されるよう取り組んでまいりたい。
	② 学習塾と連携した学習意欲向上プロジェクト	・人材確保に課題があると思われるが、特に予算面なのか周知方法なのか。 ・高校魅力化プロジェクトの推進 ・H31年入学者19名ですと夕張高校が廃校の方向になる可能性はありませんか？存続のためにも外部から人を集める、という考えも必要だと思います。寮を作るとか。個人的な想いですが夕張高校だけは是非存続してもらいたいです。がんばってください。 ・平成31年4月から、塾講師1名が欠員状況であり、早急な対応が必要である。このことは、公設塾存続に大きく関わる問題である。また、「令和2年度の取組(予定)」に「夕張ならではの特色ある学習プログラムづくりの検討を行う。」とあるが、昨年度から「夕張高校魅力化企画委員会」が組織されず、夕張高校魅力化の推進に重大な支障を来した。今年度も同様のことがないよう尽力願う。	キセキノ運営体制等も含め高校魅力化事業について、意見交換会なども行いながら取組について検討してまいりたい。
	③ 課題から希望を創る高校魅力化プロジェクト	・市内民間企業や炭鉱経験者等との連携講義を行ってほしい。 ・入学者数、地元進学率のデータに誤りがあります。修正願います。	・上記に同じ。 ・入学者数、地元進学率について修正。
	④ ITを活用した既存産業の付加価値化・人材育成	・「令和元年までの進捗・事業効果」の記載が、平成30年度と同じということは、令和元年度は、事業を行っていないこととなる。また、「事業実施上の課題」「令和2年度の取組(予定)」が空欄であることから、本年度は、当該事業の予定がないと読み取れるが、いかがなものか。	今後の取組について検討してまいりたい。
	⑥ 地域を活性化させるためのキャリア教育	・良い事業だと思う。周知と発展に力をいれてほしい。 ・素晴らしい取り組みだと思います。	マンツーマンオンライン英会話など引き続き夕張らしい人材育成に取り組んでまいりたい。
	戦略5:持続可能なまちづくり	③ 補てん型から利用型の公共交通体系の構築(交通結節点整備・デマンド交通)	・拠点施設ができたあとの市民の利便性を再度見直し検討すべき。 ・デマンド交通を始めるとタクシー会社が潰れると聞いたことがありますが、タクシー会社に補助を行なっているエリアもあると書かれており安心しました。今後もタクシー会社とも連携をとって進めてもらえるとうれしいです。
④ 公共施設の更なるスリム化と活用ストックの機能充実		・人口減や地域の状況を見据えつつ経費の削減を目指して取り組んでいただきたい。 ・市役所の外観について、道路から見える窓の破損したブラインドがそのままになっていたり、書類等が散乱している状況は、市民から見てもあまり良い事だと思わないので、改善をお願いしたい。	庁内で意見を共有し、改善に取り組んでまいりたい。